

第39回全日本壮年ソフトボール大会・京都府予選大会

大会実施要項

- 主催 京都府ソフトボール協会
 主管 舞鶴市ソフトボール協会
 会期 令和6年7月6日（土）・7日（日）予備日7月13日（土）・14日（日）
 会場 東舞鶴公園陸上競技場（会場までの地図を別紙送付）
 参加資格 ①2024年度（公財）日本ソフトボール協会に加盟登録を完了したチームであり各支部より推薦された壮年チームであること。
 ②チームの中に公認コーチ・公認スポーツ指導員の有資格者がいること。
 また、大会当日資格等の提出を求められた際、提出できるよう持参すること。
※大会当日本部受付で指導者資格証と身分証明（顔写真入り）で本人確認のチェックをさせて戴きますのでよろしくお願ひします。
- 参加チーム数 1. 各支部協会の出場は、原則として1チームとする。
 2. 前年度優勝・準優勝チームはシード出場を認める。
 3. 大会主管協会より別に1チームの推薦出場を認める
 4. 京都府協会が特別に認めた推薦チームの大会参加を認める。
 ①（公財）日本ソフトボール協会への登録チーム数の多い支部協会。
 ② 数多く出場し、常時上位にランクされたチームの推薦。
 ③ ここ数年優秀な選手を育成したチームの推薦。
 ④ 支部協会より4チーム以上の出場は認めない。
 （注）なお、希望のチームは、予備チームとして締め切りまでに申し込んで下さい。但し、出場できない場合もあります。
- チーム構成 ①監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、選手25名以内とする。
 ②監督、コーチ、スコアラーが選手を兼ねる場合は選手欄に記入し登録をすること。（申込以降のメンバー変更は認めない）
 ③スコアラーとしてのベンチ入りは、公式記録員有資格者のみ。
- 試合方法 ①7回戦トーナメント方式。但し試合開始から90分を超えて新しいイニングに入らない。最終回終了時、同点の場合、次の回から2回を限度にタイブレークを採用し、それ以降は抽選で勝敗を決定する。
 ②決勝戦は7回または90分を超えて同点の場合、次の回から、タイブレークを採用し、勝敗を決定する。
 ③5回以降7点差以上の場合、全試合に、コールドゲームを採用。
 ④優勝チームを、京都府代表チームとし、全国大会の出場権を与える。
 ⑤上位2チームを京都府代表チームとし、近畿大会の出場権を与える。
- 審判員・記録員 京都府ソフトボール協会所属公認審判員・公式記録員
- ルール 2024年（公財）日本ソフトボール協会オフィシャルルールを適用するが、一部特別ルールを設ける。その他、特別の事態については、大会本部が決定する。
- 試合球 （公財）日本ソフトボール協会検定 ゴム3号球（内外ゴム㈱製）
 ※全国大会の使用球は（内外ゴム㈱製）
- 傷害処置 選手が試合中に傷害を受けた場合、主催者は応急処置のほか、責任は負わない。
 （参加者は、全員健康保健証を持参すること）

- 申込み方法 出場資格を得たチームは別紙関係書類に必要事項を明記の上、[各所属支部協会の事務局よりメールで京都府協会 softball@r2.dion.ne.jp](mailto:softball@r2.dion.ne.jp)に6月14日(金)までに必着するように申し込むこと
- 参加料 1チーム15,000円
- 振込先 6月14日(金)までに、チーム名を明記の上、下記の口座に振込むこと。
① 振込口座 京都北都信用金庫 倉梯支店 普通 0040350
② 口座名義 舞鶴市ソフトボール協会
- 組合せ抽選 抽選会は6月22日(土)19時より東舞鶴公園管理棟にて主催者及び主管協会立ち合いのもと、公開代理抽選によって行う。
- 問合せ先 舞鶴市ソフトボール協会 理事長 小谷 徹 090-3352-0244
事務局 松味 努 090-7498-4372
- 雨天時試合有無の決定時間 午前7時
- その他 (1) 各チームは試合予定1時間前には、大会本部において受付をすること。
指導者資格有者は、資格証と身分証明書と併せて、受付時に、必ず、提示すること。
(2) 出場チームは必ず監督(引率責任者がいる場合は引率責任者)によって引率され、監督(引率責任者)は選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。
(3) 全日本大会で棄権したチームの取扱いについては以下の通りとする。
棄権チームに対する処置：当該年度及び次年度の公式試合の出場停止
※組み合わせ抽選終了後の出場辞退も大会期間中の棄権とみなし、上記と同様の処置とする。
棄権チームに対する処置は日本協会倫理委員会で審査し日本協会理事会で決定する。
(4) 大会参加申込書は手書き又はパソコン等で作成し明確に記入すること。